

ホームレスと地域支援

—人間らしい住まいの確保を目指して—

プログラム

○講演「ホームレスの人々を地域で支えあう活動を通して

～NPO ほっとプラスの実践とこれから」

講師:藤田孝典氏 (NPO ほっとプラス代表理事)

○笹島診療所の活動紹介

◇講師紹介

1982年茨城県生まれ。社会福祉士。

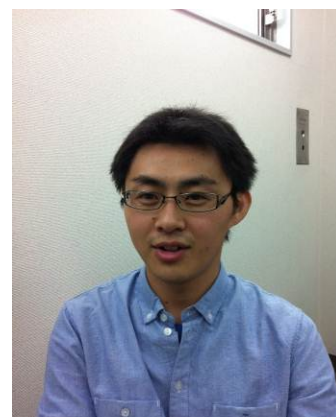
2004年からは、さいたま市内で野宿する方々を定期的に訪問する活動を

独自に展開。2006年10月にNPO法人ほっとポットを設立し、

さいたま市内に民家を借り上げて運営する地域生活サポートを開設し、

相談・生活支援、自立支援などの総合的ソーシャルワークを実践。

2009年3月からは、反貧困ネットワーク埼玉代表。



とき

2011年10月2日(日) 13:30~16:30 (開場 13:15)

ところ

日本福祉大学名古屋キャンパス北館8階

(JR 鶴舞駅、地下鉄鶴舞駅より徒歩5分) ※地図は裏面

主催

笹島診療所

参加無料：どなたでもご参加いただけます

【～講演者から皆さんへ～】 ホームレスの方々に対する支援活動を一步前へ！

埼玉県さいたま市で生活困窮者やホームレス状態にある人々に対する支援活動を2004年から続けてきました。社会保障制度や生活保護制度があるにも関わらず、なぜホームレス状態にある人々が存在するのでしょうか。社会がその不正義や不条理の状態を放置することに疑問を持っていますし、何らかの関わりや支援があれば、人が路上で放置されることはなくなると確信しています。

一人でも多くの方が人間らしい暮らしを立て直せるように、工夫しながら試行錯誤してきた活動をご紹介します。それは地域生活サポートホームという地域の空き家を活用して、一緒に住んで寄り添いながら支援を提供することであつたし、一人で相談を抱え込まずに弁護士や保健師など専門職と協働しながら支援を組み立てていくものでした。そして、近年ではホームレス状態にある人々だけでなく、自殺思慮をされる方や刑事施設から出られて行き場のない方など生活困難なニーズを抱えた方が増えています。そのため、社会的居場所を作り出す活動や地域生活を支える仕組みづくりのために新たなNPOを立ち上げました。ホームレス状態にある人々の支援から次代の社会福祉ビジョンも語る。そんな場にしたいと思っています。

笹島診療所とは・・・？

医療・福祉の面から、野宿者の方々の支援活動に取り組んでいる団体です。（1985年に設立）

【主な活動】

- ◆ 「炊き出し」の会場での医療・生活相談、ボランティア医師による診察活動（毎週木曜午後7時～）
- ◆ 公園・河川敷などへの訪問診察（毎月1回、日曜日午前10時～）
- ◆ 事務所での生活相談（毎週月曜・金曜 午前9時30分～12時30分）
- ◆ アパート生活に移った人達との食事会・交流会の実施（月1回）
- ◆ 病院などに入院されている方への訪問（不定期）

野宿をしなくてもすむ状況を作っていくことを目指して活動しています。

ボランティア募集中！

会場案内



JR 鶴舞駅、地下鉄鶴舞駅より
徒歩5分
2番出口を出てすぐ

<問い合わせ先>

笹島診療所

名古屋市中村区則武2丁目8-13 笹島労働者会館3階

TEL 052-451-4585 開所時間: 月曜・金曜 9:30~12:30

E-mail cl.4sima@fancy.ocn.ne.jp

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~sasasima/>